

まちづくり基本目標

- ◇将来を担う人が育つまちをつくる
- ◇安心して生活できるまちをつくる
- ◇賑わいのあるまちをつくる
- ◇暮らしやすいまちをつくる

発行・町田市 編集・政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 午前8時30分～午後5時
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>



携帯電話用QRコード

大規模地震に備えて

大切な人たちを守るために、あなたが今、できること

問防災安全課 ☎724・2107 FAX 050・3085・6519



東京都が発表した「首都直下地震等による東京の被害想定」によると、南関東地域では、今後30年以内に約70%の確率で大規模な地震が発生すると予想されています。

地震による被害を減らすためには、自分や家族で備える「自助」、近所で助け合う「共助」、行政支援の「公助」による連携が重要です。中でも、災害発生時は「自助」や「共助」が大切です。

あなたや、あなたの大切な人を守るため、地震への備えを再確認しましょう。

家庭での備え

〈その1〉家の中を安全に
たんすや本棚等の家具類は、転倒防止器具等で固定し、重い物は高い所に置かないようにしましょう。また、窓などのガラスには飛散防止のフィルムを貼りましょう。市では、高齢者や障がい者



〈その2〉水・食料等の備蓄

大地震発生時には電気・ガス・水道等の停止や、流通が停滞し、食料や物資が手に入りにくい状況となります。

災害発生当初は人命救助が最優先され、行政による本格的な支援の開始まで3日以上かかると思われます。各家庭で、次のようなものを備蓄しておきましょう。

- 飲料水(大人1人1日あたり3リットル以上)、食料(3日～1週間分)、ラジオ、懐中電灯、電池、衣類、医薬品、卓上コンロ等

〈その3〉家族防災会議

普段から家族で災害時の行動について話し合い、避難広場や避難経路、互いの連絡方法等を決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤルや、携帯電話の災害伝言板の使用方法も確認しておきましょう。

を対象に、家具類に転倒防止器具を取り付ける事業を行っており、ご自分で器具の取り付けができない世帯の取付手数料を市が負担しています(器具代は自己負担です)。

問高齢者福祉課 ☎724・2141 FAX 050・3101・6180、障がい福祉課 ☎724・2148 FAX 050・3101・1653

○災害用伝言ダイヤル「171」は、8月30日～9月5日の防災週間中及び毎月1日・15日等に体験利用できます。

〈その4〉住宅の耐震化
建物の倒壊による被害を減らすため、自宅の耐震化をしましょう。市では、耐震診断・耐震補強工事への助成制度を設けています(詳細は本紙4面をご覧ください)。

防災フェア

家具類の転倒防止器具、水・食料の備蓄や建物の耐震化等、家庭での震災対策を中心に、展示を行います。

○日時 8月31日(月)～9月4日(金)、午前8時30分～午後5時(初日は午前9時から)

○会場 イベントスタジオ(市庁舎1階)
市内では、自主防災組織が地域の防災・防犯活動の主体となつて活動しています。皆さんも加入して、日ごろから地域の人たちと協力し合える人間関係を作りましょう。

地域での備え

市では、自主防災組織に対し、防災・防犯活動の経費の一部を補助しています。

〈その2〉救助器具等の備蓄
災害時に皆で助け合えるように、救助器具等の準備を行い、個人で備蓄することが難しい物は、自主防災組織で用意することをお勧めします。

〈その3〉地域の防災活動
大規模地震の発生時は、消防車や救急車が災害現場へ駆けつけることが極めて困難です。発災直後は地域住民同士の協力・連携が重要です。過去の事例でも、災害現場の近くにいた人が協力して、多くの命を救っています。町内会・自治会や自主防災組織が実施する防災訓練に積極的に参加しましょう。

8月30日(日) 町田市総合防災訓練を実施

市では大規模な地震災害に備えて、消防・警察・自衛隊等関係協力機関とともに、総合防災訓練を行っています。今回の総合防災訓練は、鶴川地区がメイン会場です。鶴川駅と和光大学ポプリホールでは、震災時に対応するため、職員の帰宅困難者対策訓練を行います。近隣に医療救護活動をする病院のない大蔵小学校で行う災害時医療救護訓練では、近隣の住民も参加し、医療救護態勢を検証します。また、三輪緑山スポーツ広場では、体験型訓練や震災演習等を行います。



昨年の訓練の様子

家具転倒防止器具、非常食等備蓄品、ライフライン関係機関、住宅用火災警報器等

市民と防災関係機関が連携した地震災害対策訓練等

隣接する三輪中央公園内の応急給水施設で、飲料水を配給する訓練等

○日時 8月30日(日)午前9時～11時30分
○会場 三輪緑山スポーツ広場(三輪緑山3-25)
※直接会場へおいで下さい。
○交通 小田急線鶴川駅北口4番乗り場から鶴川緑山住宅循環バスで「鶴川緑山住宅前」下車徒歩1分
【体験型訓練コーナー】
初期消火、結核体験、炊き出し、応急手当等
【展示・PRコーナー】

日ごろの防犯活動により 中町中央町内会が 関東管区警察局長賞を受賞



中町中央町内会の皆さんと石阪市長

市内の中町中央町内会が、関東管区警察局長賞を受賞し、5月29日に警視庁で表彰状が授与されました。この表彰は、犯罪に強い社会を実現するため、安全・安心なまちづくりに顕著な功績や功労のあった個人または団体に対して行われます。

中町中央町内会は、市内中心部の中町1・2丁目を区域とし、加入世帯数が1000を超えている団体です。独自の「地域防災マップ」作成や、広報紙の発行、ラミネートポスターの掲示など、防災や防犯意識の啓発・高揚に力を入れています。

また、地域のパトロールにも積極的に取り組み、2014年度は延べ1530人が参加し、102回のパトロールを行いました。町田警察署と連携した活動も積極的に進め、他の町内会・自治会の模範となっています。

受賞報告のため、市役所を訪れた町内会の新井会長は、「子どもから年配者まで、幅広い世代が防犯活動に携わっていることが、私たちの誇りです」と力強く語られました。

問市民協働推進課 ☎724・4358 FAX 050・3085・6517

不足！ 加熱に注意！
食肉が原因の食中毒
肉の生食は危険がいっぱい！

この季節、全国的に食肉の生食や加熱不足などが原因で食中毒が発生しています。腸管出血性大腸菌O157による食中毒は、重症化したら、死亡する場合があります。バーベキュー等で肉を食べるときは、中心部までよく加熱して食べてください。

熱してから食べましょう。牛レバ刺しや豚肉の生食は、禁止されています。またそれ以外の生肉でも食中毒を起こす可能性があります。

- 【食中毒予防の三原則】
- つけない(2次汚染防止)
 - ふやさない(温度管理)
 - やっつける(加熱する)
- 問生活衛生課 ☎722・7254 FAX 722・3249